

国内における新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) は、大雑把につかんで 2020 年 4~5 月、7~9 月、11~2021 年 2 月、4~6 月、7~9 月と 5 回の流行に見舞われました。2021 年 10 月 2 日現在、世界の感染者数 2 億 3 千 400 万人、死亡者 479 万人、致死率 2.04% となっており、国内では同じく 10 月 2 日現在感染者数 170 万人、死者数 17,719 人、致死率 1.03% となっています。これまで少数であった小児での感染者が、2 学期が始まることによって大きなクラスターあるいは感染源となり、それに伴って重症例の発生も心配されましたが、多くの人の注意と我慢に効果があったか（真の大きな原因はいまだ不明ですが）、9 月には急速な新規患者数の減少がみられました。大人での発生の減少はそこから子どもへの感染のチャンスも減少させ、幸い小児での感染拡大が膨らむことは現時点ではなく、本誌 10 月号発行の時点ではさらに落ち着いていることを願うところです。

さて、今月号の特集は「重症心身障害・神経筋疾患の呼吸管理」です。COVID-19 の流行により、ECMO、人工換気、ネーザルハイフロー、血中酸素分圧モニターなどの語がメディアにも登場しよく知られるようになりましたが、小児にとっての長期呼吸器管理は、まさに「死なない呼吸器管理」から「よ

りよく生きるための呼吸管理」(特集 1.緒方健一先生) への転換、支援、チーム作りとなってきました。またこの中には、大震災などで電源がなくなることへの備え、避難所や適切な施設への移動・移送などにも触れられており、医療提供だけではなく幅広い対応が求められることについても理解される特集となりました。COVID-19 に追われ、一般医療や本特集にあるような特殊な状況への医療に対する圧迫が大きな課題となり、幸いぎりぎりのところで最悪の事態は回避されたと思いますが、医療には一定の余裕があって初めて良質の医療が提供できることを改めて痛感した次第です。

総説として「結節性硬化症に伴うてんかんの治療」「保険適用となった遺伝学的検査」「小児肺移植の現状」など、一般医療で常に遭遇するものではありませんが小児医療の知識として重要なもの、6 編の貴重な症例の報告、オピニオンとして「メディアにむしばまれる子どもたち」などの寄稿を頂いています。また日本医大小児科学教室からは、神経学分野に関する外国論文の紹介を頂いています。

秋の風情を楽しみながらどうぞ本誌 10 月号にも目をお通しください。

(岡部 信彦)

編集：伊藤保彦・中西敏雄・岡部信彦・清水直樹・高橋孝雄 (ABC 順)

小児科

第 62 巻 第 11 号 10 月号
2021 年 10 月 1 日発行 (毎月 1 回 1 日発行)
定価 3,080 円 (本体 2,800 円 + 税 10%)

年間購読料金
定価 47,630 円 (本体 43,300 円 + 税 10%)
[年間 13 冊 (増刊号、増大号を含む) の誌代]
[年間予約購読者に限り送料無料]
※別冊は年間購読に含まれません※

発行所 金原出版株式会社
発行者 福村 直樹
〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14
Tel 03(3811)7165 [雑誌部直通]
Tel 03(3811)7184 [営業部直通]
Fax 03(3813)0288
<http://www.kanehara-shuppan.co.jp>
振替口座 00130-1-191269
印刷所 三報社印刷株式会社 Tel 03(3637)0005
広告申込先 福田商店 Tel 06(6941)5600

- ・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権 (送信可能化権を含む)、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著作者の権利は、金原出版株式会社が保有します。
- ・**JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>
本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構 (TEL: 03-5244-5088, FAX: 03-5244-5089, E-mail: info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。